

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-172590  
(43)Date of publication of application : 23.06.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00  
H04L 12/54  
H04L 12/58

(21)Application number : 10-350528  
(22)Date of filing : 09.12.1998

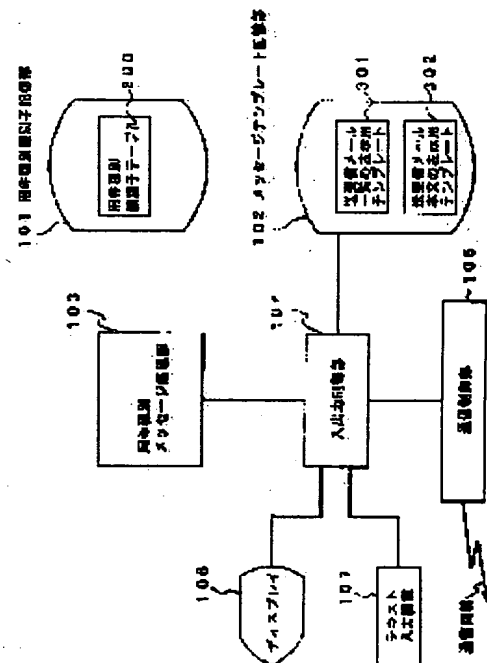
(71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>  
(72)Inventor : YONEMURA SHUNICHI  
NAKANO HIROTAKA

## (54) COMMUNICATION METHOD AND DEVICE WITH BUSINESS MATTER IDENTIFIER AND RECORDING MEDIUM RECORDING COMMUNICATION PROGRAM WITH BUSINESS MATTER IDENTIFIER

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily and properly transmit the business matter type information on a message to the opposite party together with the message in a message transmission/reception system.

**SOLUTION:** The business matter types of messages are sorted into plural groups, and the identification ID and the business matter type information are associated with each other and prepared at the transmitting and receiving sides respectively. At the transmitting side, the ID corresponding to the business matter type selected by a user is added to the message and transmitted. At the receiving side, the business matter information corresponding to the ID added to the message is selected and presented to the user together with the message.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]  
[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-172590

(P2000-172590A)

(43) 公開日 平成12年6月23日 (2000.6.23)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 13/00

H 0 4 L 12/54

12/58

識別記号

3 5 1

F I

G 0 6 F 13/00

H 0 4 L 11/20

テーマコード(参考)

3 5 1 G 5 B 0 8 9

1 0 1 B 5 K 0 3 0

9 A 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平10-350528

(22) 出願日

平成10年12月9日 (1998.12.9)

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

(72) 発明者 米村 俊一

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本  
電信電話株式会社内

(72) 発明者 中野 博隆

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本  
電信電話株式会社内

(74) 代理人 100073760

弁理士 鈴木 誠

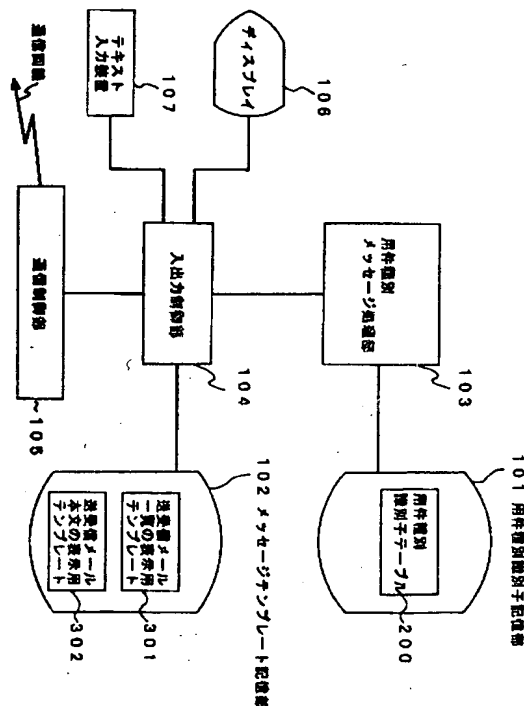
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 用件種別識別子付き通信方法、通信装置及び用件種別識別子付き通信プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 メッセージ送受信において、メッセージとともに、容易にかつ適切に該メッセージの用件種別情報を相手に伝達できるようにする。

【解決手段】 メッセージの用件種別を複数に分類し、識別IDと用件種別情報とを対応づけて、あらかじめ送信側と受信側で互いに用意し、送信側では、利用者が選択した用件種別に対応する識別IDをメッセージに付加して送信し、受信側では、メッセージに付加された識別IDに対応する用件種別情報を選択し、メッセージとともに該選択した用件種別情報を利用者に提示する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 メッセージの用件種別を複数に分類し、識別IDと用件種別情報とを対応づけて、あらかじめ送信側と受信側で互いに用意し、送信側では、利用者が選択した用件種別に対応する識別IDをメッセージに付加して送信し、受信側では、メッセージに付加された識別IDに対応する用件種別情報を選択し、メッセージとともに該選択した用件種別情報を利用者に提示する、ことを特徴とする用件種別識別子付き通信方法。

【請求項2】 メッセージの用件種別を複数に分類し、識別IDと用件種別情報とを対応づけて格納した手段と、送受信メッセージの書式を規定するメッセージテンプレートを格納する手段と、メッセージテンプレートに基づき送信メッセージを作成し、該送信メッセージに利用者が選択した用件種別に対応する識別IDを付加して送信する手段と、受信メッセージに付加された識別IDに対応する用件種別情報を選択し、メッセージテンプレートに基づいてメッセージと該選択した情動画像を組み立て利用者に提示する手段と、を具備することを特徴とする通信装置。

【請求項3】 メッセージの用件種別を複数に分類し、識別IDと用件種別情報とを対応づけて保持すること、メッセージの用件種別識別子付きメッセージを送受信するための用件種別識別子付き通信プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、利用者が選択した用件種別に対応する識別IDをメッセージに付加して送信するプロセスと、受信されたメッセージに付加された識別IDに対応する用件種別情報を選択し、受信メッセージとともに利用者に提示するプロセスと、が記録されていることを特徴とする記録媒体。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、非音声メッセージなどの送受信において、メッセージの用件種別を相手に提示する通信方法及び装置、並びに、用件種別識別子付き通信プログラムを記録した記録媒体に関する。

**【0002】**

【従来の技術】 従来、非音声メッセージなどの送受信において、メッセージの用件を一言で簡単に伝える方法としては、たとえばFAXのレターヘッドに本文の概要を記述する方法、あるいは、電子メールのように標題欄に用件の概要を記述する方法などがある。

**【0003】**

【解決しようとする課題】 FAXのレターヘッドに本文の概要を記述する方法では、FAX本文の要約文を考えて、それをレターヘッド部分に簡潔に記述しなければならない、煩雑である。また、電子メールの標題欄に用件の

概要を記述する方法では、限られた字数で本文の要約文を記述しなければならない、煩雑であると同時に、要約文の主旨が相手に伝わりにくい場合があるという問題がある。

【0004】 本発明の目的は、非音声メッセージなどの送受信において、上記従来の問題を解決し、容易かつ適切にメッセージの用件種別を相手に伝える用件種別識別子付き通信方法及び装置、並びに、用件種別識別子付き通信プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

**【0005】**

【課題を解決するための手段】 本発明は、メッセージの用件種別を複数に分類し、識別IDと用件種別情報とを対応づけて、あらかじめ送信側と受信側で互いに用意しておき、送信側では、利用者が選択した用件種別に対応する識別IDをメッセージに付加して送信し、受信側では、メッセージに付加された識別IDに対応する用件種別情報を選択し、メッセージとともに該選択した用件種別情報を利用者に提示するようにしたことである。これにより、容易且つ適切にメッセージの用件種別を相手に伝えることが可能になる。

**【0006】**

【発明の実施の形態】 以下、本発明の一実施の形態について図面を参照して説明する。以下では、用件種別識別子（識別ID）を用いて電子メールの送受信を行う場合の実施例を示す。

【0007】 図1は、本発明の用件種別識別子付きメッセージの送受信を行う通信装置の構成例を示すブロック図である。本通信装置は用件種別識別子記憶部101、メッセージテンプレート記憶部102、用件種別メッセージ処理部103、入出力制御部104、通信制御部105、ディスプレイ106及びテキスト入力装置107から構成される。このような通信装置（端末）が通信回線を通して相互に接続され、用件種別識別子付きメッセージ（電子メール）の送受信が行われる。

【0008】 用件種別識別子記憶部101は用件種別識別子テーブル200を格納している。該用件種別識別子テーブル200は、図2に示すように、識別ID対応に、メッセージの用件種別を識別するための情報を管理している。

【0009】 メッセージテンプレート記憶部102は送／受信メール一覧の表示用テンプレート301及び送／受信メール本文の表示用テンプレート302を格納している。送／受信メール一覧テンプレート301は、図3（A）に示すように、日付、用件種別、送／受信アドレス、標題、優先順位、ステイタス（未発信、未読等）などで構成される。送／受信メール本文テンプレート301は、図3（B）に示すように、ヘッダ情報表示領域とメール本文表示領域からなり、ヘッダ情報表示領域に用件種別欄が追加される。

【0010】以下、図1乃至図3について、本発明の用件種別識別子付き通信の動作例を説明する。

【0011】まず、送信側について説明する。利用者は、ディスプレイ106の表示画面上のボタン選択やテキスト入力装置107からのファンクションキー入力等により、送信用メッセージ作成の指示を行う。該送信用メッセージ作成指示を受けて、入出力制御部104により、メッセージテンプレート記憶部102から図3(B)に示すような送/受信メール本文の表示用テンプレート302(即ち、送信メール書式设计用テンプレート)が読み込まれ、ディスプレイ106に表示される。利用者は、ディスプレイ106に表示された送信メール作成のテンプレートにあわせて、テキスト入力装置107よりメール本文などをを入力する。入力されたメール本文などは、入出力制御部104を介してディスプレイ106の表示テンプレート上の所定領域に挿入される。

【0012】さらに、利用者は、該メッセージの用件種別を相手に提示するために、ディスプレイ106の表示画面上のボタン選択やテキスト入力装置107からのファンクションキー入力等により、用件種別メニュー表示の指示を行う。これを受けて、入出力制御部104より用件種別メッセージ処理部103に対して用件種別識別子テーブルの読み込みが指示され、用件種別メッセージ処理部103では、用件種別識別子記憶部101から図2に示すような用件種別識別子テーブル200を読み込み、入出力制御部104に送る。この用件種別識別子テーブル200が、入出力制御部104を介して、用件種別メニューとしてディスプレイ106に表示される。図4は、用件種別メニュー表示の様子を示したものであり、例えばメール本文のテンプレートに重ねて用件種別メニュー400が表示される。

【0013】利用者は、このダイアログ表示された用件種別メニュー400から目的の用件種別を選択する。ここでは、「あいさつ」が選択されたとする。この利用者により用件種別が選択されると、入出力制御部104を介して、当該用件種別の情報(ここでは「あいさつ」)が、ディスプレイ106のメール本文のテンプレート上のヘッダ表示領域に表示されるとともに、当該用件種別に対応する識別ID(ここでは「C05」)が入出力制御部104に一時記憶される。

【0014】利用者は、ディスプレイ106の表示画面により、目的の用件種別情報の挿入されたメッセージ(送信メール)が組み立てられたのを確信して、テキスト入力装置107よりメッセージ送信コマンドを入力する。これは、ディスプレイ106の表示画面上の送信ボタン等を選択することでもよい。このメッセージ送信コマンドの入力により、選択された用件種別の識別IDをヘッダ等を含む電子メールが、入出力制御部104を介して通信制御部105へ送られ、該通信制御部105より通信回線を介して相手通信装置(端末)へ送信され

る。

【0015】なお、送信側では、入出力制御部104を介して、メッセージテンプレート記憶部102から図3(A)に示すような送信メール一覧の表示用テンプレート301を取り込み、送信メール一覧の該当欄に利用者の選択した用件種別を付加して表示することもできる。

【0016】次に、受信側の動作について説明する。相手端末より電子メールが通信線を介して通信制御部105に送られてくる。この送られてきたメッセージの例えばヘッダ情報の中に、当該メッセージの用件種別に対応する識別ID(ここでは「C05」)が含まれている。受信された電子メールは、入出力制御部104に一時蓄積される。これと同時に、電子メールのヘッダ情報が用件種別メッセージ処理部103に送られる。

【0017】用件種別メッセージ処理部103では、用件種別識別子記憶部101から図2に示すような用件種別識別子テーブル201を一時読み込み、入出力制御部104から送られたヘッダ情報の識別IDと一致する識別IDが存在するか照合する。照合の結果、もし、該当識別IDが存在すれば、用件種別メッセージ処理部103は、該識別IDに対応する用件種別情報を入出力制御部104に送る。なお、照合の結果、もし、ヘッダ情報の識別IDと一致するものが存在しなかった場合には、用件種別メッセージ処理部103はヌルコードを入出力制御部104に送る。

【0018】一方、メッセージテンプレート記憶部102より、図3(A)及び(B)に示すような受信メール一覧の表示用テンプレート301、受信メール本文の表示用テンプレート302が入出力制御部104に読み込まれる。入出力制御部104では、受信された電子メールに含まれるヘッダ情報を、受信メール一覧の表示用テンプレート301で決められたとおりの書式に組み立てると同時に、用件種別メッセージ処理部103より送られてきた用件種別情報を所定の書式に組み立てる。また、入出力制御部104では、受信された電子メールに含まれるヘッダ情報および本文を、受信メール本文の表示用テンプレート302で決められたとおりの書式に組み立てると同時に、メッセージ処理部103より送られてきた用件種別情報(用件種別識別メッセージ)を所定の書式に組み立てる。

【0019】入出力制御部104において、受信メール一覧の表示用テンプレート301、および、受信メール本文の表示用テンプレート302で指定されたとおりに組み立てられた情報は、ディスプレイ106に送られて表示される。

【0020】図5(A)及び(B)に、用件種別識別子付き受信メール一覧の表示例および用件種別識別子付き受信メール本文の表示例を示す。図5(A)の受信メール一覧の表示例501に示すように、たとえば、受信した電子メールの標題が同じ「経理番号123の処理」で

あっても、その主旨は、一方は「経理番号123の処理」に関する「問い合わせ」であり、他方は「経理番号123の処理」に関する何らかの「通知」であることが容易に識別できる。

【0021】以上本発明の一実施例について説明したが、図1の構成は、所謂コンピュータのハードウェアやソフトウェア資源を利用して実現されるものである。そして、用件種別メッセージ処理部103、入出力制御部104及び通信制御部105の処理機能や手順（プロセス）は、コンピュータで実行可能な形式のプログラム（情動画像通信プログラム）として、フロッピーディスクやメモリカード、CD-ROMなどに記録して提示することが可能である。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、非音声メッセージなどの送受信において、容易に且つ適切にメッセージの用件を相手に伝えることができる。また、メッセージには用件種別情報にかえてその識別IDを付加することにより、伝送情報量の増加はほとんどないに等しい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による用件種別識別子付き通信方法を実現する通信装置の実施例を示すブロック図である。

【図2】用件種別識別子テーブルの一例を示す図である。

【図3】送／受信メール一覧の表示用プレート及び送／受信メール本文の表示用プレートの一例を示す図である。

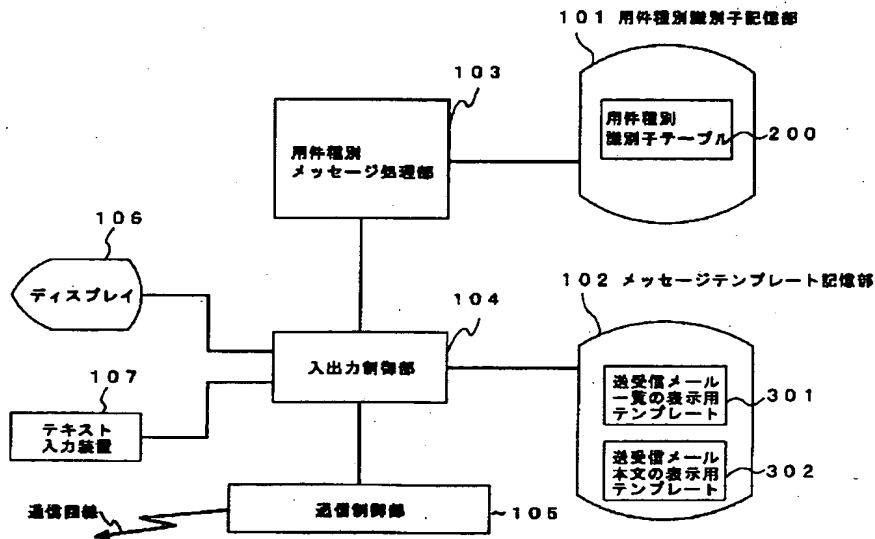
【図4】用件種別メニューの表示例を示す図である。

【図5】受信側の画面表示例を示す図である。

【符号の説明】

- 101 用件種別識別子記憶部
- 102 メッセージテンプレート記憶部
- 103 用件種別メッセージ処理部
- 104 入出力制御部
- 105 通信制御部
- 106 ディスプレイ
- 107 テキスト入力装置
- 200 用件種別識別子テーブル
- 301 送／受信メール一覧の表示用テンプレート
- 302 送／受信メール本文の表示用テンプレート

【図1】



【図2】

用件種別識別子テーブルの例

200

識別ID	メッセージの用件種別
C01	通知・報告
C02	案内
C03	依頼
C04	問い合わせ
C05	あいさつ
C06	お礼
C07	お祝い
C08	お見舞い
C09	お詫び
C10	抗議

【図3】

(A) 送受信メール一覧の表示用テンプレート

301

日付	用件種別	アドレス	件名	優先順位	ステータス

(B) 送受信メール本文の表示用テンプレート

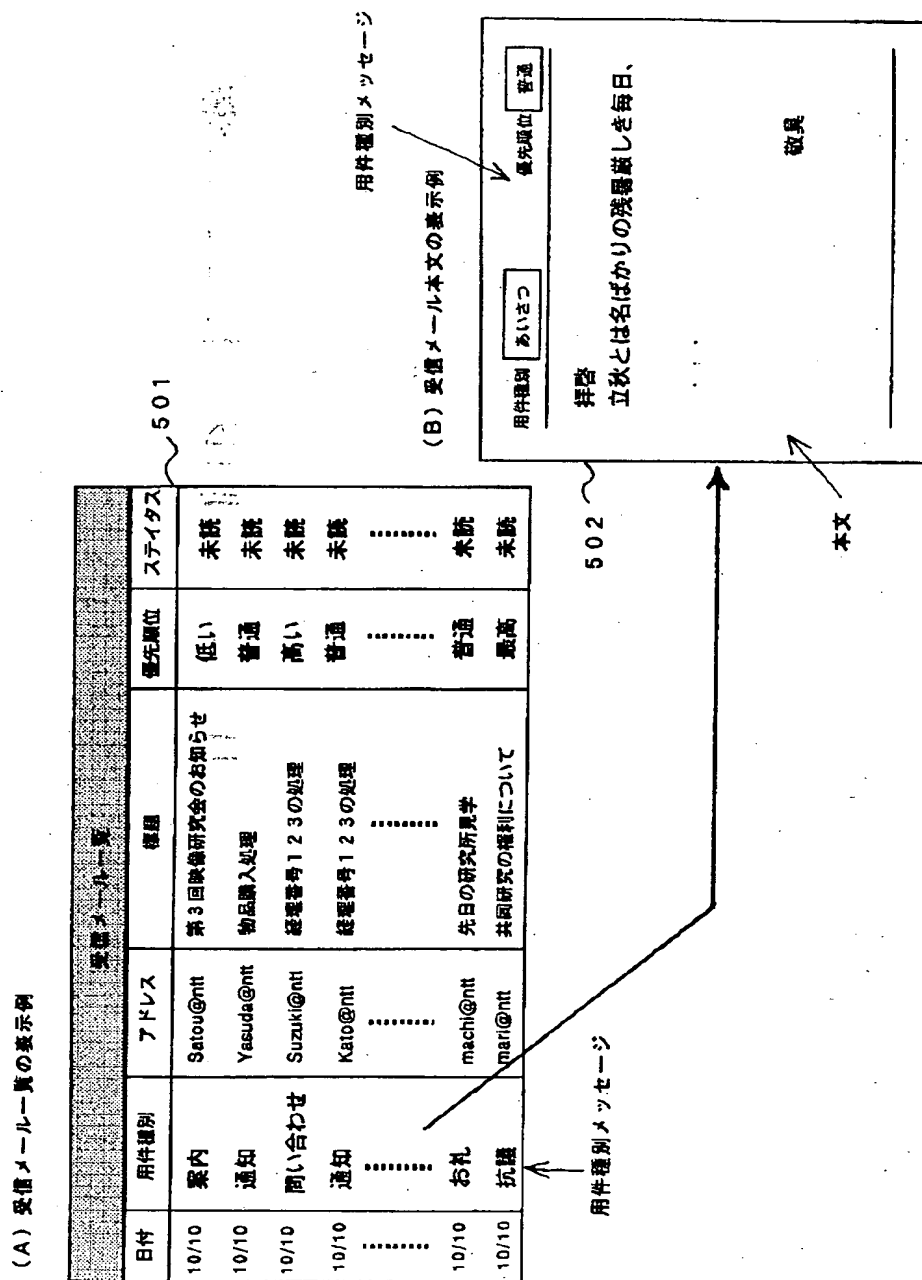
302

用件種別	優先順位
ヘッダ	
本文	

【図4】

用件種別	あいさつ	優先順位	普通
拝啓	用件種別メニュー		
立秋と	C01	通知・報告	しき毎日、
	C02	案内	
	C03	依頼	
	C04	問い合わせ	
	C05	あいさつ	
	C06	お礼	
	C07	お祝い	
	C08	お見舞い	
	C09	お詫び	
	C10	抗議	
	敬具		

【図5】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA21 HA01 JA31 JB01 KA01  
 KB06  
 5K030 GA18 HB16 JT02 KA06 KA08  
 LE12  
 9A001 JJ12 JJ14